

INDEX

【音楽学科】	1
【美術学科】	7
【地域社会学科】	11
【保育科】	21

【音楽学科】

■出張講義

申込番号	分野	担当	講義名	講義内容	講師プロフィール
M-1	実技系 (ピアノ)	教授 谷本聡子	アンサンブルの愉しみ	音楽は皆でも一人でもアンサンブル。室内楽を演奏する上での役割と愉しみを、演奏を交えながらお話します。	ハンガリーリスト音楽芸術大学卒業。日本人初のソリストディプロマを取得。ドイツフライブルク音楽大学院修了。ダルムシュタット、ボストン、ベルリン八重奏団、新ブダペストやケラー弦楽四重奏団、ザルツブルグゾリステン他、チェロのペレーニ等ソリストと、Bp 弦楽合奏団、シティオケ、札幌、日本フィル等と共演。ヨーロッパ、カナダ、アメリカ、ロシアで演奏。PMF でウィーンフィルの首席達と共演。ルガーノ、ブダペスト春・秋の音楽祭出演。札幌市民芸術祭大賞、札幌市民文化奨励賞、'17年、ハンガリー政府より、文化勲章受賞。
M-2	実技系 (ピアノ)	准教授 黒山 映	演奏解釈	多くの音楽家が、同じ曲の同じ楽譜を見て演奏しても、みな違った演奏になるのはなぜでしょう。表情記号の読み方、考え方のちょっとした違いで演奏がどのように変わるのか考えてみましょう。	横浜市出身、桐朋学園大学卒業。1992年に渡独し、ピオッティ・バルセジヤ国際コンクールで審査員特別賞(94年)、カントゥ国際コンクール(同)及びマリアカナルス国際コンクール(95年)でディプロマ賞をそれぞれ受賞。95年、シュトゥットガルト音楽大学大学院を修了。96年にマサラ・デル・ヴァーロ国際コンクール入選。97年12月に帰国。2007年に札幌市民芸術祭奨励賞受賞。現在札幌大谷大学芸術学部音楽学科准教授。

M-3	実技系 (ピアノ)	准教授 鎌倉亮太	伴奏のおもしろさ	<p>ピアニストには、ソロを弾くだけでなく、ほかの楽器や合唱などと一緒に弾く「伴奏」の役割があります。伴奏とは、誰かに合わせて、後ろからついていくものではありません。時には指揮者の役割、演出家の役割も担う、大変面白いものです。上手な伴奏とはどんなものなのか、そのコツについて演奏を交えながらお教えします。</p>	<p>北海道教育大学札幌校芸術文化課程卒業及び、同大学大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院へ留学。留学中クフモ室内楽音楽祭に参加。2006年札幌市民芸術祭大賞を受賞。2013年第12回中田喜直記念コンクールにおいてNHK旭川放送局賞、三浦洋一賞を受賞。</p> <p>ピアニスト、指揮者として活動の幅を広げ、2008年より、室内楽グループ kuhmo' z を結成、全国各地で演奏会を実施し、札幌コンサートホール kitara でのリサイタル公演を含め公演数は30回以上を重ねる。</p> <p>また、北海道二期会「不思議の国のアリス」、「ショパン」(いずれも北海道初演)、kitara 主催オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の指揮を務める。</p> <p>2019年度より、本学音楽総合コース主任として就任。</p>
M-4	講義系 (音楽総合)		コンサートができるまで ～音楽のお仕事～	<p>「音楽のお仕事」とはどんなものを想像しますか？</p> <p>演奏家、指導者、教師・・・実はそれ以外にも、音楽に携わる仕事はたくさんあります。例えば、ひとつのコンサートを開催するうえで、どれだけ多くの人に関わっているでしょうか。舞台の上に立っている演奏家以外にも、様々な方が裏方として関わっています。</p> <p>コンサートスタッフ、プロデューサー、オーケストラマネージャー、オペラの舞台スタッフなど、コンサートを作り上げるうえで、お客様から見えないたくさんのお仕事があります。</p> <p>本講義では、そんな音楽を生かした様々なお仕事についてご紹介します。</p>	

M-5	実技系 (声楽)	教授 三山博司	良く響く声・明瞭な 発音を身につけよう ～より良い独唱・合唱 を目指して～	「声」という楽器の特性を理解し、 良く響かせるためにブレス（息）や 体の使い方を初歩からわかりやすく 学んでいきます。そして声のテクニ ックを使って美しい発音（特に日本 語）で歌うことを実践します。また 作曲家がどのように考えてテキスト （詩）に旋律やハーモニーを付けた かを楽譜を手掛かりに一緒に考えて いきましょう。	東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修士課程修了。 博士後期課程満期退学。博士後期課程では B・ブリテンなど の 20 世紀イギリス歌曲を研究する。受難曲の福音史家や、 バッハ、ヘンデル、モーツァルト、ベートーヴェンなどの宗 教曲および「第九」のテノールソロを数多く務め、オペラでは マスネ「ヴェルテル」のタイトルロールをはじめ、多くのフラ ンス・オペラ、オペレッタに出演している。これまでにイギ リス歌曲や日本歌曲・フランス歌曲を中心としたリサイタル を 8 回開く。
M-6	実技系 (声楽)	准教授 針生美智子	良い声で歌おう	声は 1 人 1 人の身体が違う様に、唯 一無二の楽器です。楽器＝身体をど う意識したら良い声になるのか、そ の意識の仕方、訓練の仕方をお伝え します。 声の妙技である「オペラ」の作品に 触れながら、演奏を交えて、お話し します。	小樽市出身。札幌大谷短期大学卒業、同専攻科修了。文化庁 オペラ研修所第 11 期修了。道文化財団、文化庁在外研修員と してローマに留学。第 2 回藤沢オペラコンクール第 1 位他多 数受賞。新国立劇場「イエヌーフア」「パルジファル」「夕 鶴」二期会、松本オペラ「魔笛」のほか、東京オペレッタ劇 場「紅いりんご」「こうもり」「天国と地獄」「ジェロルシ ュタンの女大公」「魔笛」のほか、「コジ・ファン・トゥッ テ」「電話」「リタ」「絹のはしご」など多数出演。二期会 会員。
M-7	実技系 (木管楽器 及び合奏)	准教授 河野泰幸	いい音を出そう	本来、どの楽器にも、それぞれに”いい 音”が備わっています。その音を出すた めには、一人一人のメンバーやバンド 全体の特徴や個性に応じた、日常での トレーニング方法を見つけることが 大切です。プロのオーケストラや吹奏 楽団での経験を積んだ札幌大谷の教員 が、皆さんと一緒に音を出しながら、 本物の音を手に入れる方法を考えま す。	京都市立堀川高校音楽科、東京藝術大学音楽学部を経て、シ ュトゥットガルト芸術大学修了。在独中、リューベック歌劇 場、プフォルツハイム市立劇場のクラリネット奏者として研 鑽を積む。海川雅富、村井祐児、三界秀実、ヴォルフガング・ マイヤー、ノルベルト・カイザーの各氏に師事。第 10 回京 都芸術祭で「京都市長賞」受賞。「Trio Rintonare」のコンサ ートが評価され青山財団より 2008 年度バロックザール賞を 受賞。現在、札幌大谷高校音楽科非常勤講師。

M-8	実技系 (金管楽器)	教授 大隅雅人	本物の音を求めて	<p>音楽を奏する時に豊かな幅広い響きが生じて、自由に演奏できるとどんなに素晴らしいでしょう？素晴らしい音色や柔軟性を求めるには、日々のトレーニング方法が大事です。プロのオーケストラや吹奏楽団での経験を生かし、皆さんと一緒に音を出しながら、あなたにとって最適な練習メニューを考えます。</p>	<p>札幌出身。日本大学芸術学部音楽学科在学中より東京シティフィル、東京交響楽団、東京佼成ウインド等へ客員。東京金管五重奏団第一トランペット奏者、新星日本交響楽団団員(現、東京フィル)を経て東京交響楽団へ首席奏者として入団。文化庁在外研修員制度によりニューヨーク、マネス音楽院へ留学し、ニューヨークフィル V・ペンツァレラ氏に師事。呼吸法を元シカゴ交響楽団チューバ奏者故 A・ジェイコブス氏に師事。第4回日本管打楽器コンクール第3位入賞。元 東京交響楽団首席トランペット奏者。</p>
-----	---------------	------------	----------	--	--

M-9	講義系 (音楽概論・ 音楽史)	教授 千葉 潤	音の不思議 遊びながら 学ぶ音の仕組み	物理現象でもあり、音楽の基礎でもある「音」は、不思議な魅力をもっています。ばね電話やグラスのハーモニカ等での実験を通して、音の謎に迫ります。	東京藝術大学大学院音楽研究科後期博士課程満期退学、 ロシア国立モスクワ音楽院大学院音楽理論科修了。2003年に芸術学カンディダート(Ph. D)取得。洗足音楽大学、くらしき作陽大学、北海道教育大学等の非常勤講師を歴任。専攻は音楽学・現代ロシア音楽。著書に「作曲家人と作品 ショスタコーヴィチ」(音楽之友社)、「アリフレド・シュニトケの交響的創作：間テキスト分析の試み」(モスクワ・コンポジートル社、露語)。共編著に「ロシア音楽事典」(カワイ出版)など。
			吹奏楽の歴史と文化	身近に接している吹奏楽や管楽器・打楽器の生い立ちを知っていますか。面白い格好をした過去の楽器や、様々な器楽合奏の例を辿りながら、吹奏楽の誕生や楽器の変化を振り返ってみましょう。	
M-11	講義系 (作曲)	准教授 小山隼平	もうBGMとは呼ばせない	映画やテレビを見ていると、あるシーンに音楽が流れたりしますね。だいたい音楽はシーンの内容に「合わせて」付けられると、多くの人が考えます。でももし、音楽の方が主導権を握るとしたら？ ただのBGMにはならない「付随音楽」の力を、選曲をしながら感じていきましょう。	東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。2008年奏楽堂日本歌曲コンクール・一般の部で、寺山修司の詩による「四つのちぎれた歌」が第1位を受賞。第2回TIAA全日本作曲家コンクール・室内楽部門では「オーボエ五重奏曲」が第2位を受賞。また、俳優座劇場プロデュース公演「音楽劇 わが町」でピアニストを務めるなど、演劇の分野での活動も行っている。現在、北海道教育大学教育学部教員養成課程講師(非常勤)。
			コンピューターで作曲を始めよう	いまや音楽業界で、コンピューターを使った作曲は欠かせないものになっています。パソコン本体もソフトの値段も安くなり、気軽に始められるものになりました。では何を用意して、どこから始めれば良いのでしょうか。これから始めたい人向けの、入門講座です。	

M-12	体験ワークショップ系 (音楽療法)	准教授 高田由利子	コミュニケーション力を養おう！	音楽療法士に求められる能力の一つにコミュニケーション力があります。主に『聴く力』、『観察力』そして『共感する力』などを高めていくことでコミュニケーション力は向上されます。講義では、『音を媒体としたコミュニケーション・トレーニング』の概要を学び、聴く力や観察力などの手法を用いて実際にコミュニケーション力が高まるワークを体験してみましよう。終了後にコミュニケーション力が上がっていることに気がつくでしょう。	洗足学園音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学付属音楽療法臨床センターにおいて音楽療法の実習指導に携わる。その後、米国留学し、レズリー大学大学院表現アーツ学科音楽療法・メンタルヘルスカウンセリング科修士課程修了。ニューヨーク、ノードフ・ロビンズ音楽療法センターにてディプロマ取得。現在、東京大学大学院学際情報学府文化・人間情報学コース博士課程在籍。日本音楽療法学会認定音楽療法士。ノードフ・ロビンズ音楽療法士。共編著に「ケースに学ぶ音楽療法Ⅰ」（岩崎学術出版社, 2017）。
	講義系 (音楽療法)		音・音楽のもつコミュニケーションの力について	音楽療法は音楽を用いた心理療法とされているように、音や音楽を用いてクライアントの問題や悩みを解決していきます。では、カラオケも音楽療法と言えるのでしょうか？治療アプローチを援用することによって、十分に音楽療法になります。その治療アプローチを学ぶことで、音楽が個人レベルから地域や社会などのマクロレベルに対し、どのように貢献できるかを学んでみたいと思います。好きな音楽の聞き方が変わるかもしれません。	

【美術学科】

■出張講義（講義系） ※実技系の講義は「がんばれ！美術の時間」に記載していますのでご覧ください。

申込番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
A-1	講義 (進路指導)	全教員対応	美術・デザインの学びと仕事	美術・デザインの学びによってどのようなことが養われるのか、そしてどのように社会や仕事と繋がるのかについて、身近な例をもとに紹介します。	
A-2	講義 (絵画)	教授 川口 浩	自由な発想と多彩な表現を目指して	視聴覚機器を使用し、高校生とほぼ同年代の多数の作品を見て、作品内容を解説し、取り組み方や「創ること」を考えます。	武蔵野美術大学大学院造形研究科油画専攻修了。日大鶴ヶ丘高等学校非常勤講師、岩見沢東、稚内高等学校教諭を経て現職。 担当授業は基礎造形 B、油彩研究Ⅲ・Ⅳ、卒業制作、表現研究。 明日への具象展、具象の新世紀展、北海道現代具象展各実行委員（～2017）、現在 全道展会員。
A-3	講義 (絵画)	教授 松村 繁	偶然性が喚起するもの	様々な作品の中から、偶然の効果を生かして制作している作家を取り上げます。彼等がどの様にして、画材の様々な表情を引き出し、その効果と自身の内面世界をつなげて制作しているのかを探っていきます。	1984年3月 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業（芸術学士）。1986年3月武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程（美術専攻）修了（芸術学修士）。現在、札幌大谷大学芸術学部美術学科教授、武蔵野美術大学造形学部通信教育非常勤講師兼任、北海道教育大学札幌校非常勤講師兼任。過去に白日会 白日賞、安田火災美術財団奨励賞を受賞。専門分野は油彩とテンペラ絵具による混合表現。

A-4	講義 (現代美術)	教授 今 義典	コンテンポラリーアートの最前線	世界各国の最先端芸術を動画や写真を交え、分かりやすく解説していきます。	1992 年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻(美術学士) 終了後、1994 年東京藝術大学美術学部大学院美術研究科(美術修士) 修了。1995 年ドイツ政府給費留学(DAAD)クンストアカデミーデュッセルドルフ写真学科入学、3 年のドイツ滞在後 1998 年帰国。2001 年より東京藝術大学美術学部附属写真センター常勤助手 6 年を経て、2008 年本学着任。現在芸術学部美術学科メディア表現領域教授。専門は現代美術。主にコンテンポラリーアートでの写真・映像表現をベースに研究を行っている。90 年代から現在まで国内外での発表多数。
A-5	講義 (写真)		記録としての写真、表現としての写真	写真を大きく 3 つに大別すると、記録の特性が強い「報道写真」と、美しさやある種の問題提起をしていく「芸術写真」、そして商品の販売促進のための「広告写真」などおおまかに 3 つに大別されます。この講座ではこれらのジャンルについて焦点を当て、様々な写真作品を紹介していきます。	
A-6	講義 (美術教育)	教授 平向功一	わたしたちは何を描いて成長してきたか	0 歳から小学校卒業までの子どもたちの造形表現は単純な身体表現からはじまり心理的な発達とともにどんどん変化していきます。この講義では実際の子どもの絵を見ながらその発達過程について解説します。また世界中の子どもたちの絵を紹介します。	北海道教育大学教育学部札幌分校特別教科(美術・工芸)卒業。同大学大学院修了。本学では日本画専攻を担当。道内外の展覧会に出品。また、教職授業の美術教育も担当。美術教師を目指す学生が中心となり、スクールミュージアム〔鑑賞授業〕や大型のアートワーク(表現活動)などを行うオオタニアートキャラバンを道内各地の学校で展開している。小学校・中学校の教科書編集にも携わる。
A-7	講義 (日本画)		日本画のひみつ	日本画の魅力は日本ならではの考え方や技法、独特な画材・道具にあります。素材に触れる、金箔を貼るなどの体験をしながら、日本画の歴史や画材、伝統的な技法などを通して日本画と日本文化を深く学びます。	

A-8	講義 (日本絵画)	教授 平向功一	琳派にふれる	琳派とは伝統的なやまと絵の手法を洗練させ、明快な構図と華やかな色彩で描かれた装飾性の高い絵画様式のことをさします。本授業では琳派の歴史を学習しながら伝統的な日本絵画の世界を学びます。	
A-9	講義 (デザイン)	准教授 鳥宮尚道	デザインにできること、求められること	私たちが身の回りで使う“モノ”のデザインを事例に、デザインがこれまでどのように発展してきた、これから先どのように進化していくのだろうか、という流れを豊富な資料を紹介しながら解説します。	筑波大学大学院芸術研究科を修了後、東北芸術工科大学生産デザイン学科助手、京都工芸繊維大学工芸科学研究科デザイン学部門助教を経て本学講師、2017年より准教授。博士(学術)。専門は情報デザイン、プロダクトデザイン。生活の中で使用する道具やサービスに求められるニーズを定性・定量の両側面から探り、使う人のことを考えてデザイン、提案することを企業、行政、地域とともに実践した経歴を持つ。
A-10	講義 (デザイン)	准教授 島名 毅	今からはじめるアート (デザイン) 思考	VUCA (ブーカ) ワールドとは「Volatility=変動」「Uncertainty=不確実」「Complexity=不確実」「Ambiguity=曖昧」の頭文字をとった今の世の中を指した言葉です。このような世の中で生きていくために必要なアート思考・デザイン思考と呼ばれる考え方についてレクチャーします。	1977年東京生まれ、千葉県育ち。東京藝術大学美術学部デザイン学科卒業・同大学修士課程デザイン専攻修了。同大学教育研究助手・助教を経て札幌大谷大学メディア表現領域グラフィック専攻准教授。専門はデザイン学、アートディレクション。グラフィックデザインを中心とした媒体を主に扱うが、近年は地域デザインのディレクションやフィルムアーカイブなど様々な活動を行っている。サブカルチャー(アニメ)にも造詣が深い。
A-11	講義 (デザイン)	講師 村井陽平	文化とデザイン	日本は高度経済成長を経て西洋化が進み、我々の生活は大変豊かになった一方、和文化は低迷の一途を辿りました。現在のアジアの情勢として、日本を取り巻く近隣諸国の発展には目覚ましいものがありますが、日本の成長は停滞しています。そんな時代だからこそ、デザインの分野においても、先人達が作り上げてきた日本の文化を、もう一度現代に見直さなければならない時が来ています。 デザインはモノをデザインするだけでなく、人とモノとの関係をデザインすることも出来ます。和楽器の研究を行う自身の経験と共に、デザイナーの仕事や社会的役割を紹介します。	1987年富山県生まれ。金沢美術工芸大学美術工芸学部デザイン科を卒業後、企業にてプロダクトデザイナーとして勤める。英ロイヤル・カレッジ・オブ・アートへの留学を経て、京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。同大学院博士課程を首席的な賞である「梅原猛賞」を受賞して修了(美術博士)。修士・博士課程共に、大学院第一種奨学金返還免除奨学生に選定。専門分野はプロダクトデザイン、クラフトデザイン。企業にて商品開発を行った経験を持つと共に、フリーランスデザイナー・研究者としても受賞経歴を持つ。教育歴としては、京都大学、京都府立大学、専門学校のデザイン教育に携わった経験を持ち、現京都市立芸術大学美術学部デザイン科非常勤講師、日本伝統音楽研究センター共同研究員、意匠学会役員。

A-12	講義 (デザイン)	講師 村井陽平	デザインに学ぶ	私は民間企業でデザイナーとして働いていましたが、長年に渡り憧れてきた英国の大学院大学で学ぶ機会を求めて会社を辞め、実際にその大学で学ぶチャンスを得ました。世界のデザイン教育をリードしてきた RCA では、世界中から猛者が集まり、様々な強烈なカルチャーショックと共に、欧州と日本のデザインの捉え方やその意味、学ぶ姿勢の違いに驚かされる事が多くありました。本講義では、デザインの目的や役割とは何なのか、海外で学んだ事とは何だったのか、自身の実体験に基づき講義をします。	
------	--------------	------------	---------	--	--

美術に関する創作活動の支援をします。

- ・学校に美術の授業や美術クラブがなく指導が受けられない人
- ・どんな画材(道具)を使用したらいいのかお悩みの人
- ・自分の作品を専門の先生に評価をしてもらいたい人

などを支援します。

遠方の方でもメールの画像添付などで作品の指導をいたします

問合せ先 入試広報課

【地域社会学科】

■出張講義

申込番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
S-1	社会学	教授 高橋 肇	社会を生き抜く力としての「社会学的想像力」	社会と時代を生き抜く力を育てるうえで必要な「心の品質(a quality of mind)」について考えます。私たちは生きていく中で、個人的な葛藤やトラブルに直面しますが、個人的トラブルを単なる私的の問題として捉えるだけでは、社会を生き抜く力としては不十分です。私的トラブルを公共的イシュー（社会的な問題）として捉えなおす力こそ「社会学的想像力」です。そうした精神の特質について考えます。	名古屋大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得退学。名古屋大学法学部基礎政治学講座助手を経て、1996年より名古屋音楽大学専任講師。以後21年間、名古屋音楽大学にて教養科目担当の教員として教鞭をとりつつ大学運営に深く関わる。2010年3月、46歳准教授の時に名古屋音楽大学の学長に就任。音楽が専門でない音大学長として注目を浴びる。2014年4月より同大学音楽学部音楽学科教授。2016年3月、6年間の学長任期満了に伴い名古屋音楽大学学長を退任。2017年4月より、札幌大谷大学・札幌大谷短期大学部学長に就任。札幌大谷大学社会学部教授。専門は社会政治学。C.Wright Mills 研究者。研究テーマはグローバル社会における自由主義と民主主義。
S-2	政治学		家族・地域・企業・NPOを生き抜く力とは？～組織を動かす政治力	人類は、共同性と組織の中を生きる生物種です。家族や地域といった共同性、あるいは企業やNPOといった組織の中で生き抜いていくうえで必要な力はいろいろありますが、この講義では社会的存在としての人間が身に着けておくべき最小限の政治的能力について考えます。	
S-3	日本語	教授 平岡祥孝	実用日本語表現	社会生活や職業生活において文章を書く場面が多くあります。二字熟語の漢字の使い方、意味の通る文の作り方、文章作成上役に立つ公式などを、事例を数多く取り上げながら文章力を伸ばしていきたいと思います。また、様々な辞書を紹介して、各々の使い方を説明していきます。手書きの重要性を知ってもらうためにも、楽しくプリント学習で勉強していきます。	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。九州大学博士（農学）。農業経済学専攻。学生の就職支援やインターンシップ事業に長年かかわる。教育論や仕事論などをテーマに講演や高校出張講義など多数。2001年日本消費経済学会学会賞受賞。著書に『ミドルの仕事論』、『インターンシップの現場から見た仕事論』、『北海道再建への戦略』（編著）『それでも大学が必要』と言われるために』（編著）他。『北海道新聞』水曜夕刊コラム「平さんの異論・暴論・青論」執筆中。

S-4	社会学	教授 西脇裕之	防犯まちづくりの光と影	「人を見たら泥棒と思え」。「渡る世間に鬼はない」。あなたはどちらの言葉にリアリティを感じますか。この講義では近年の犯罪と防犯活動についての市民意識を確認した上で、防犯まちづくりを支える環境犯罪論という考え方を解説します。また、防犯まちづくり活動がもたらすプラスとマイナスの影響について受講生と一緒に分析しながら、高校倫理における「幸福と功利」の学習へつなげて考えます。	慶應義塾大学社会学研究科後期博士課程単位取得退学。専門は社会学説史。主な研究テーマは、コミュニケーションの意味を送り手の意図ではなく受け手の反応に求める相互行為論の発想とプラグマティズムというアメリカの哲学的伝統との関連、その応用編として都市環境におけるコミュニケーションや行動の誘導についても研究を広げる。本学においては社会学部開設以来、社会学基礎という社会学の入門講義を担当。
S-5	社会学	教授 森 雅人	高校生のための観光マーケティング入門	ワークショップ方式によって、観光マーケティングの手順を学びます。アピールすべき札幌観光の魅力を洗い出し、観光客を増やすための戦略をマーケティング・ミクスの視点から整理していきます。ワークショップを進めながら、市場・顧客のニーズを満たす旅行商品・サービスの価値、商品・サービスの価値、商品化について提案に結びつけます。	昭和 55 年、札幌大学経済学部経済学科卒業。昭和 58 年、駒澤大学大学院人文科学研究科修士課程社会学専攻修了。専門は民俗学、地域社会学、観光学、宗教人類学。共著に『シャーマニズムとその周辺』（株）第一書房、平成 12 年、『よさこい／YOSAKOI 学リーディングス』開成出版（株）、平成 15 年。論文に「地域社会における馬頭観音信仰の持続性に関する社会的アプローチ—北海道を事例として—」『日本の石仏』第 155 号、日本石仏協会、平成 27 年など。北海道地域づくりアドバイザーとして、主に文化領域からまちづくりに関する提言を行っている。
S-6	社会学	教授 山下成治	モノを計る・心を測る	学校の身体測定では、身長は「センチ」、体重は「キロ」で書かれていたと思います。駅までの距離は「キロ」で、徒歩時間は「分」で表されているので、おおよそどのくらい前に家を出れば職場や学校に着くかがわかります。 このようなモノやコトを計る「ものさし」とはいったいどんなものなのでしょう？この物差しが、人や社会、文化の違いによって異なれば、さまざまな問題が生まれてしまいます。私達のココロも、同じような「ある原理」に基いた「物差し」をもっていることを実例から確認していきましょう。	1953 年東京都生まれ。北海道大学水産学研究科修士課程修了/博士(水産学)/日本水産学会賞'02(田内賞)。北大水産学部/北大院水産科学研究科・助手/講師/准教授を経て現職。専門は漁村地域計画および生産管理工学・水産工学・産業保健人間工学。地域資源管理論/環境社会学/情報数学などを担当。数理統計分析や社会心理調査法を用いた地域課題解決のための PDCA サイクルに従うプロジェクト管理および地域協議会創生と活動支援を実践。北海道マリナビジョン推進委員・公共事業評価審査委員・各種水産技術顧問・北海道地域づくりアドバイザーなどを兼務。

S-7	キャリア	教授 和田佳子	高校生のためのキャリアデザイン	<p>将来の夢や、やりたい仕事は見えてきましたか。その夢を実現させるために今取り組んでいることはありますか。まだまだ自分の適性がわからず、先が見えずに不安を感じているという人も少なくないでしょう。そもそも、働くって、どういふことなのでしょう。将来に対する不安を少しでも解消するために、高校生の今、やっておくべきこと・考えておくべきことをキャリアカウンセリングの手法を用いて探ってみます。</p>	<p>1983年藤女子大学文学部英文学科卒業。札幌市内のホテルで社長室秘書勤務の後、教職に就く。國學院短期大学、北海道武蔵女子短期大学教授を経て、2012年から現職。専門はキャリア教育。産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとして日々、学生や卒業生の様々な相談に応じている。著書に『働く女性』（文眞堂）、『秘書ビジネス論』（紀伊国屋書店）、『若者の地域志向とソーシャル・キャピタル』（中西出版）など。札幌市社会教育委員会委員。現在は「ビジネス分野における教育プログラムと職業能力のチューニングに関する研究」（課題番号：17K04722）に取り組んでいる。</p>
S-8	社会学	教授 西浦 功	大震災。その時あなたはどうしますか？（ワークショップ形式）	<p>昨年の胆振東部地震のように、大震災には誰にとっても他人事ではありません。また、ブラックアウトで電気が使えなくなる等、震災は我々の生活に様々な形で被害を及ぼします。このような極限状態に置かれたとき、どのようにすれば自身の生活をうまく再生できるでしょうか。震災に関する学びとグループワークを通して、震災後の状況をうまく乗り切るための方法を参加者みなさんと一緒に考えてみましょう。</p>	<p>1972年北海道稚内市生まれ。北海道大学大学院博士課程満期退学。日本女子大学助手、北翔大学准教授を経て現職。専門は福祉社会学。「福祉のまちづくり」を主たる研究テーマとして、福祉ボランティア活動や高齢者向け在宅福祉サービスにまつわる調査研究を行ってきた。近年では、「買物難民」問題をはじめとして地域で孤立する高齢者の方々の生活ニーズを把握し支援策を検討するため、美唄市におけるフィールド調査を進行中である。</p>
S-9	文学	教授 吉岡 亮	福沢諭吉から見る明治の社会	<p>福沢諭吉の『学問のすゝめ』。その書名は聞いたことがあるでしょうが、実際に読んだことがある人はなかなかいないようです。本講義では、この書名だけが有名な『学問のすゝめ』を、ほんの一部分ではありますが、みなさんと一緒に実際に読んでみようと思います。具体的には、福沢諭吉の生涯を簡単に振り返った上で、『学問のすゝめ』の議論をいくつか取り上げ、明治初年に彼が何を考えていたのか、また、彼がそのように考えたのはどのような時代背景であったのかを見ていきます。</p>	<p>北海道大学文学部を卒業後、2年間、出版社に勤務。その後、大学院に入り直し、大学院卒業後、苫小牧工業高等専門での7年間の勤務を経て、現職。苫小牧工業高等専門では主に国語の授業を担当。専門は日本近代文学で、現在は明治時代の文学と歴史の関係について研究を行う。大学では文学に関する科目の他、文章表現に関する科目を担当している。</p>

S-10	教育	教授 荒井眞一	内容構成に基づいた授業：農具の発達と生産の増加	教職課程を履修する学生は、4年次に教育実習に参加し中学校あるいは高校で研究授業を行わなければなりません。この研究授業では、内容構成に基づいた授業の展開が求められます。本講座では、江戸時代の農業技術の発達による商品生産の増加について、しょうゆ醸造業を例に挙げ、内容構成に基づいた授業展開についてお話しします。	北海道大学教育学部卒業、大学院教育学研究科修了、博士（教育学）。20数年の学習塾経営、北海道文教大学講師を経て現在に至る。専攻は教育方法学。学問研究成果を踏まえた教育内容を、生徒の認識形成過程に即して系統性・順次性を保持しながら教材として組織した上で、実験授業の結果を踏まえてその成果を検証している。近年は、学問研究が社会的な意識形成にどのように関わっていたかという問題を、幕末期における尊王攘夷運動を具体的な足場として考察している。
S-11	英語	教授 石川希美	英語で表現してみよう	この講義では、英語で各自が自分の思いや考えを書いて表現するのがねらいです。書くことは、自分の知っている表現を使う機会であり、使いたい表現を探す機会にもなるでしょう。また、それぞれが書いたものを発表しあうことで、自分では気づかなかったことを知るかもしれません。これは、自分の考えを発表する、他の人の発表（考え・意見）を聞いてさらに考えを深めていくといった大学での学びを体験することにもつながります。	米国カリフォルニア州立大学ロングビーチ校言語学科（TESOL 専攻）修士課程修了。これまで道内の中高一貫校、専門学校、高等教育機関に勤務。通訳や外国語ボランティアの経験もある。担当科目は基礎演習Ⅰ～Ⅳ、英語演習Ⅰ・Ⅱ、英語プレゼンテーション A・B。研究分野は、英語教育、ライティング、教科指導など。
S-12	法律	准教授 佐藤弘直	日常のやり取りと法律	内容量が 500ml と表示された 1 本 150 円のペットボトル飲料が、実は、内容量が 490ml だった場合、あなたは 3 円分を手にしていないこととなります。3 円の返還を求めるため、あるいは不足している 10ml の引き渡しを求めるため裁判所に訴えますか。苦情も言われず、この飲料水が 1 億本売られたとしたら、業者は、3 億円を手に入れることができます。これでいいのでしょうか。	北海学園大学大学院法学研究科博士（後期）課程修了（博士（法学）） 札幌簡易裁判所裁判所書記官、札幌大谷大学社会学部地域社会学科講師を経て、2017年から現職。北海学園大学法学部非常勤講師、消費者支援ネット北海道理事、検討委員。 札幌大谷大学では法学入門、民法入門、専門演習等を、北海学園大学では消費者法を担当する。消費者支援ネット北海道では、消費者被害の防止のための活動を行っている。

S-13	教育	准教授 岡部 敦	学校と社会の関係について： いろんな高校の形から公教育 の役割を考えてみましょう	日本の高校の 70%は普通科でしかもそのほとんどは、朝登校し夕方に授業が終了するシステムです。近年、社会経済格差の拡大が深刻な課題として指摘されています。この格差の問題は、教育機会の格差の問題につながります。今まで当たり前と思われてきた学校システムが社会の変化への柔軟な対応を求められています。すでに多くの先進国では、公教育の新たな試みがなされています。本講義では、特に、カナダ・アルバータ州の事例を踏まえて、日本における新しい学校の形と役割について一緒に考えます。	小樽商科大学卒、北海道大学大学院修士課程、博士後期課程修了を経て 2011 年 3 月に博士（教育学）を取得する。北海道内の公立高校教員（英語）として 20 年間、文部省外国教育施設日本語指導教員派遣事業にて、2 年間カナダ・アルバータ州の公立高校で勤務し、国際交流、キャリア教育および高大接続の推進に努めた。専門は教育制度、キャリア教育、カナダ・アルバータ州の高校教育をフィールドに研究を続けている。主な著書は『高等学校から職業社会への移行プログラムの研究』風間書房、2020 年。
S-14	経営学	講師 太田稔	社会を変えるソーシャル・ビ ジネス入門 「こまった」を解決する仕事	私たちを取り巻く社会は常に変化しています。環境問題や格差社会、少子高齢化、空き家問題などあげればきりがありません。この授業では、それら社会的課題をビジネスの力で解決するソーシャル・ビジネスについて知り、社会的起業家とはどのような存在なのかを学びます。	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻修了。経営管理修士（専門職）MBA。実務家として 22 年間、企業や行政、市民団体や教育機関などへの環境教育研修、環境CSR支援などに従事。現在はソーシャル・ビジネスの戦略形成プロセスに関する研究を継続中。専門は「経営戦略論」、「ソーシャル・ビジネス」、「環境CSR」、「環境教育」。著書に「親と子の週末 48 時間（小学館）共著」など
S-15	教育	講師 丸山宏昌	こんなに便利！魔法の数字	相手に思ったことをうまく伝えることができなくて、困った経験はありませんか？ 考えがうまく整理できなくて、わかりやすく書くことができなくて、困った経験はありませんか？ わかりやすく話す能力、わかりやすく書く能力、自分の考えを整理する能力、相手の話の要点を聴き分ける能力は、これからの人生をよりよく生きるために持っていたい能力です。この講義では、これらの能力をアップするための魔法の数字の使い方をマスターします。	13 年間システムエンジニアとしてさまざまな分野のエンジニアとチームを組みシステム開発に従事。その後、人材育成会社に転職し、現職に至る。担当科目は情報処理演習。専門は組織社会学、人材開発論。学びと組織をめぐる現象について学習理論、情報、地域マネジメント、コミュニケーション論の視点から読み解くことが研究テーマ。大人の学び・成長を支援することに関心を持ち、企業・組織における人々の学習・成長・コミュニケーションについて研究している。

S-16	教育	助教 山田政樹	グローバル社会で生き抜く力	<p>昨今では国内外問わず企業のグローバル化が進み、社会で活躍するためにはグローバルな多様性を取り込む必要があるといわれています。この講義では自分自身がグローバル企業で活躍してきた経験を基に、大学入学から現在に至るまでの軌跡を事例として、何を思い、何にぶつかり、何をやってきたのか、経験談をお話しします。高校生にはこれから生きていくために、何をやっていくべきか、何を身に着けるべきか、自分で未来を切り開くヒントとなるお話ができればと思っています。</p>	<p>小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻修了、経営管理修士（専門職）。ドイツに本社を置くヨーロッパ最大級の大手ソフトウェア会社で、国内外で活躍するグローバル IT コンサルタントとして従事。プログラミングやシステムエンジニアリングなど 10 年以上の IT 業界でのキャリアを持つ。近年は地域で活躍できるグローバルビジネスパーソン育成のため、特定用途向けの英語（ESP）学習プラットフォーム作成や、人的資源管理、マーケティングなど経営学関連の研究にも携わっている。</p>
------	----	------------	---------------	---	--

■講演会

※教員研修や PTA 研修などの講演会へ本学の教員を講師として紹介いたします。

申込 番号	担当	講演会テーマ	講演会内容	プロフィール
SL-1	教授 高橋 肇	「学長」というお仕事	<p>弱冠 46 歳で名古屋音楽大学の学長に就任した経験について語ります。政治学が専門であるにも関わらず、なぜまったく専門の異なる音楽大学の学長になってしまったのか。当時 40 代半ばの准教授であったにも関わらず、なぜ学長になってしまったのか。そもそも学長のお仕事とはなんなのか。</p> <p>学長になるまで、学長になってから体験したこと、学長になってから学んだこと、そして再びなぜ北海道で札幌大谷大学の学長になってしまったのか、などなどについて、語ることのできる範囲内でざっくりと語ります。</p>	<p>名古屋大学大学院法学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得退学。名古屋大学法学部基礎政治学講座助手を経て、1996 年より名古屋音楽大学専任講師。以後 21 年間、名古屋音楽大学にて教養科目担当の教員として教鞭をとりつつ大学運営に深く関わる。2010 年 3 月、46 歳准教授の時に名古屋音楽大学の学長に就任。音楽が専門でない音大学長として注目を浴びる。2014 年 4 月より同大学音楽学部音楽学科教授。2016 年 3 月、6 年間の学長任期満了に伴い名古屋音楽大学学長を退任。2017 年 4 月より、札幌大谷大学・札幌大谷短期大学部学長に就任。札幌大谷大学社会学部教授。専門は社会政治学。C. Wright Mills 研究者。研究テーマはグローバル社会における自由主義と民主主義。</p>
SL-2		マネジメントとリーダーシップ	<p>人間の社会と組織にとって、マネジメントという営みは不可欠であり、極めて重要です。マネジメントとはソーシャル・アートであり、リベラル・アーツの実践です。また、人間の社会と組織を語る際には権力の問題を避けて通ることはできません。リベラル・アーツの重要な構成要素である政治学は、組織内権力の問題を探究するうえで有益な道具を提供してくれます。マネジメントには教養とリーダーシップが必要です。人間の社会と組織において求められるマネジメントとリーダーシップについて語ります。</p>	

SL-3	教授 高橋 肇	大学で何を学ぶか～大学と学部 の正しい選び方	偏差値と入試科目だけで大学と学部を選んでいませんか。進路選択は誰もが真剣に悩む人生の通過点ですが、ではどのように大学と学部を選べばよいのでしょうか。私がこれまでに全国各地、津々浦々で見てきた大学教育の実態にも触れながら、大学と学部の正しい選び方について考えます。その際のポイントは、自分に合った専門を選ぶこと、卒業後の就職のことばかり考えすぎないこと、です。大切なことは、「大学で何を学ぶか」です。	
SL-4	教授 梶井祥子	若者たちにとっての「結婚」 ～少子化は止められるか～	少子化の主たる原因は、未婚率の上昇にあります。現代の若者世代はどのような状況にあるのでしょうか。彼らの結婚観や家族観はどのように変化しているのでしょうか。家族社会学の視点から考えてみたいと思います。	慶應義塾大学法学部卒、北大大学院修士課程修了。専門は、社会学、家族社会学、ソーシャルキャピタル論。「親の離婚を経験した子どもたち」、「地域とつながる子育て支援」、「道内高校生の地域志向」、「スウェーデンの高齢者と家族」などをテーマに研究調査を実施。北海道社会教育委員会議長、札幌市子ども子育て会議副会長、北海道創生協議会委員などの公職。最近の編著書は「若者の地域志向とソーシャル・キャピタル」。
SL-5	教授 平岡祥孝	大学研究・学部研究	入試内容、偏差値などの表面的な指標だけで大学選択をすることは、入学後のミスマッチの大きな原因の一つです。それぞれの大学のカリキュラムの特徴を把握して、高等学校との学びの接続を意識することが必要です。本講義では、大学教育の実態を紹介しながら、大学選び・学部選びの参考になるような情報をお伝えします。	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。九州大学博士（農学）。農業経済学専攻。学生の就職支援やインターンシップ事業に長年かかわる。教育論や仕事論などをテーマに講演や高校出張講義など多数。2001年日本消費経済学会 学会賞受賞。著書に『ミドルの仕事論』、『インターンシップの現場から見た仕事論』、『北海道再建への戦略』（編著）『それでも大学が必要』と言われるために』（編著）他。『北海道新聞』水曜夕刊コラム「平さんの異論・暴論・青論」執筆中。

SL-6	教授 森 雅人	観光社会学入門	いまや 9 億人以上の人びとが世界中を移動（旅）する時代になりました。観光に関連したビジネスチャンスも広がっていますが、観光地（地域社会）は必ずしも観光の恩恵を受けていません。本講義では持続可能性をキーワードに地域社会における観光のあり方について学びます。	昭和 55 年、札幌大学経済学部経済学科卒業。昭和 58 年、駒澤大学大学院人文科学研究科修士課程社会学専攻修了。専門は民俗学、地域社会学、観光学、宗教人類学。共著に『シャーマニズムとその周辺』（株）第一書房、平成 12 年、『よさこい／YOSAKOI 学リーディングス』開成出版（株）、平成 15 年。論文に「地域社会における馬頭観音信仰の持続性に関する社会学的アプローチ北海道を事例として―」『日本の石仏』第 155 号、日本石仏協会、平成 27 年など。北海道地域づくりアドバイザーとして、主に文化領域からまちづくりに関する提言を行っている。
SL-7	教授 山下成治	ワークショップ技法の修得	地域社会は人が「単位」で成り立ちます。けれども、人がいれば社会ができていくわけではありません。感覚や考え方、喜び、苦しみは一人ひとり違ったものです。そのような「多様性」のある人が紡ぎ合ってきた地域の「課題」はどのように解決していけば良いのでしょうか？ 札幌大谷大学地域社会学科には、人の考え方の特徴を知り、これを社会に役立てるための技術体系があります。みなさんとワークショップを開いて、一緒に確認していきませんか？	1953 年東京都生まれ。北海道大学水産学研究科修士課程修了/博士(水産学)/日本水産学会賞'02(田内賞)。北大水産学部/北大院水産科学研究院:助手/講師/准教授を経て現職。専門は漁村地域計画および生産管理工学・水産工学・産業保健人間工学。地域資源管理論/環境社会学/情報数学などを担当。数理統計分析や社会心理調査法を用いた地域課題解決のための PDCA サイクルに従うプロジェクト管理および地域協議会創生と活動支援を実践。北海道マリビジョン推進委員・公共事業評価審査委員・各種水産技術顧問・北海道地域づくりアドバイザーなどを兼務。
SL-8	教授 西浦 功	大震災。その時あなたはどうしますか？	昨年の胆振東部地震のように、大震災には誰にとっても他人事ではありません。また、ブラックアウトで電気が使えなくなる等、震災は我々の生活に様々な形で被害を及ぼします。このような極限状態に置かれたとき、どのようにすれば自身の生活をうまく再生できるのでしょうか。 近年の様々な震災時の諸問題とその解決にかんする様々な事例を紹介しつつ、震災後の状況をうまく乗り切る方法について解説します。	1972 年北海道稚内市生まれ。北海道大学大学院博士課程満期退学。日本女子大学助手、北翔大学准教授を経て現職。専門は福祉社会学。「福祉のまちづくり」を主たる研究テーマとして、福祉ボランティア活動や高齢者向け在宅福祉サービスにまつわる調査研究を行ってきた。近年では、「買物難民」問題をはじめとして地域で孤立する高齢者の方々の生活ニーズを把握し支援策を検討するため、美唄市におけるフィールド調査を進行中である。

SL-9	准教授 岡部 敦	高等学校におけるキャリア教育の在り方について	近年、キャリア教育の推進が盛んに叫ばれており、高等学校では総合的な学習の時間を活用した取り組みが報告されています。しかし、キャリア教育については、明確な定義づけがなされていません。インターンシップや民間企業から派遣される講師による講演会などのイベントに終始している例も多く見られます。また、普通の授業に加えて、新たな業務が付加されることによる教員の負担感なども課題として報告されています。本講義では、キャリア教育とは何か、その経緯と意味を検討し、高校教育における在り方について提言します。	小樽商科大学卒、北海道大学大学院修士課程、博士後期課程修了を経て2011年3月に博士(教育学)を取得する。北海道内の公立高校教員(英語)として20年間、文部省外国教育施設日本語指導教員派遣事業にて、2年間カナダ・アルバータ州の公立高校で勤務し、国際交流、キャリア教育および高大接続の推進に努めた。専門は教育制度、キャリア教育、カナダ・アルバータ州の高校教育をフィールドに研究を続けている。主な著書は『高等学校から職業社会への移行プログラムの研究』風間書房、2020年。
SL-10		困難を抱える若者に学びの機会を保障するには: カナダ・アルバータ州と日本の高校教育の比較と今後の改革の可能性について	グローバル経済の進展を一つの要因として社会経済的格差が広がり、これまでのような一般的な公教育制度での対応が難しい事例が増え、学校現場では一人ひとりの教員の努力に依存している場面が増えています。これは、日本だけではなく、国際社会が共通に抱える課題であり、公教育の新たな試みが求められています。本研究では、少年の非行、発達障害、学習障害、若年者の妊娠出産といった課題に対応する高校教育の事例を紹介し、どのようなシステムで、どのような教育内容を提供することができるのかその可能性について一緒に考えます。	
SL-11	講師 太田 稔	自然から学ぶ環境の重要性 地球市民としての私たち	日本は自然豊かな国であり、その中でも北海道は自然資源に恵まれた環境にあります。しかし人間活動により北海道だけではなく地球環境全体が危機に陥っています。この授業では、生物多様性や自然環境という視点から環境問題を見つめなおし、自分たちのライフスタイルの在り方を考えます。	小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻修了。経営管理修士(専門職)MBA。実務家として22年間、企業や行政、市民団体や教育機関などへの環境教育研修、環境CSR支援などに従事。現在はソーシャル・ビジネスの戦略形成プロセスに関する研究を継続中。専門は「経営戦略論」、「ソーシャル・ビジネス」、「環境CSR」、「環境教育」。著書に「親子の週末48時間(小学館)共著」など

【保育科】

■出張講義

申込番号	分野	担当	講義名	講義内容	プロフィール
C-1	入門講座	保育科専任教員	保育者入門	保育者になるための資格の種類と内容、取得のための勉強や求められる資質、就職の動向に関する情報などをお話しします。保育者志望の方だけでなく、志望について迷っていたり、進路を決定していない方も受講可能です。内容はご希望に応じて調整いたします。	
C-2	保育原理	准教授 大澤 亜里	子どもの権利と保育	乳幼児も「人間」であり、人権をもっています。そのため保育の場でも子どもの人権に配慮することが必要です。そこで、「子どもの権利条約」はなぜつくられたのか、乳幼児はどのような権利を持っているのかを学び、子どもの権利を尊重した保育のあり方について考えます。	北海道大学大学院教育学院博士後期課程修了。博士（教育学）。専門領域は教育福祉。国連子どもの権利条約の成立に影響を与えたとされているポーランドの教育学者ヤヌシュ・コルチャックの思想と実践に関心を持ち、ポーランドに留学。ワルシャワ大学にて研究を行い、修士号を取得。教育と福祉の歴史から、また現在の子どもを取り巻く様々な問題から、子どもの権利の意味について検討している。
C-3	心理	教授 星 信子	赤ちゃんとのコミュニケーション	赤ちゃんは人と関わるための基本的な力をもって生まれてきます。生後間もない赤ちゃんの持つ力とその意味を学び、赤ちゃんとのコミュニケーションの大切さについて考えます。	北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得中退（教育学修士）。専門分野は発達心理学。人の様々な行動や感情の感じ方・表し方の個人差を表す概念である、気質の発達に関心を持って研究に取り組んできた。最近では、乳幼児の気質自体の発達に加え、それを支える子どもの心身の特徴や、養育環境の特徴に注目して観察や調査などを行っている。著書：「子どもの育ちを支える発達心理学」「子育ての発達心理学」など

C-4	文化	教授 横田由紀子	児童文化財としての絵本	「絵本」は優れた児童文化財であり、その種類も多数あります。子どもの発達段階に合わせた絵本の選択は、言葉の獲得をうながすなど重要な意味を持っています。赤ちゃん絵本と呼ばれるものや、最近の特徴的なものなど、できるだけ多くの絵本を紹介します。読み聞かせにも挑戦します。	大学での専攻は国語学。宮沢賢治の語彙について（特に、賢治の独特なオノマトペの成立に関して、童話に与える影響等が卒論のテーマ。）を研究した。現在、大学で日本語表現（文書作成）を担当し、「書く」ことが苦手な学生と向き合っている。短大（保育科）では、文書作成のほかに「児童文学」を担当し、多様化する絵本について学生に知ってもらうことを中心に授業を展開している。
C-5	自然	教授 柘植純一	子どもと自然とのかかわり	最近の子ども達は自然との触れ合いが少なく人工的な物で遊ぶことが多くなっています。幼児期の自然とのかかわりがなぜ大切なのか、自然とかかわる体験を通してどのような育ちが期待されるのかについて考えましょう。	岩手大学大学院連合農学研究科博士課程後期生物資源科学科ゲノム工学専攻修了。博士（農学）。日本環境教育学会、子ども環境学会、日本食育学会、日本農芸化学会、日本水環境学会会員。現在は幼稚園・保育所における環境教育、幼児と身近な小動物との触れ合いについて、保育者養成の視点から検討している。
C-6	音楽	准教授 松井亜樹	子どもと音楽のかかわり	保育の現場で必要な音楽の専門知識、技術のアドバイスをを行います。実際に歌ったり、手遊びをしたりしながら、具体的に実践します（講義の実施には、ピアノが設置された会場が必要となります）。	北海道教育大学教育学部札幌校芸術文化課程（音楽コース）卒業。同大学院教科教育専修音楽教育専攻（声楽分野）修了。ロシア・サンクトペテルブルグ音楽院マスタークラス修了。全国大学音楽教育学会会員。平成28年度札幌文化奨励賞受賞。平成25～29年度教員免許状更新講習講師。平成25年、平成27年札幌私立幼稚園教育研究大会分科会講師。北海道幼稚園教諭養成連絡協議会理事。乳幼児期の歌唱表現活動について研究し、ロシアの音楽教育との比較研究も行っている。

C-9	福祉	講師 今西良輔	学校におけるスクールソーシャルワーカー（SSW）の活用と支援	学校教育は子どもの成長や育ちに大きな影響を及ぼします。子どもを取り巻く環境は個々様々であり、その家庭も様々です。過去から現在にかけて学校現場には多種多様なことが起きている。それらの課題に対して、近年ではSSWの活用が取り上げられている。SC(スクールカウンセラー)を含めた学校現場でどのような問題・課題への対処が可能かを紹介し、検討します。	北海道大学大学院教育学院教育学専攻修士課程修了。職務経験としては、札幌市児童相談所の一時保護所、児童心理司などを経験し、障害相談や社会的養護の児童や保護者相談を受けてきた。最近では、北海道スクールソーシャルワーカーとして、困難を抱えた生徒対応や学校内での教育相談について関わっている。児童福祉と教育の双方から、子ども達の生活問題を捉え、子どもの育ちを保障することができるのかを考えている。
C-10	福祉	教授 中澤香織	保育者による子育て支援	保育者の仕事には、子どもの保育だけではなく、子どもの保護者や地域の保護者に対する子育て支援が含まれています。子育て家庭が抱える問題はどのようなものなのかについて、家庭への理解とともに考えていきましょう。	北海道大学大学院教育学院修士課程修了。専門分野は社会福祉学。実務経験は、医療機関のソーシャルワーカー、児童福祉施設の非常勤相談員である。現場における多様な困難を抱える女性たちとの出会いから、女性と家族の問題や対人援助職が持つ価値観に関心を持ってきた。現在の研究テーマはソーシャルワークに潜むジェンダーである。
C-11	美術	講師 馬場拓也	表現を通した子どもとのかかわり	多様な表現を認め寛容的でなければならぬとする社会風潮の中で、視覚情報で溢れる現代社会（今）に生きる私たちが何を、何を思うのか、表現活動を通して改めて考えてみましょう。	弘前大学大学院教育学研究科修士課程（教科教育専攻美術教育専修）修了。専門分野：教科教育学。実務経験：中学校教員、帯広大谷短期大学社会福祉課子ども福祉専攻専任教員。現在、クリエイティブ集団team GO-ON代表、森の輪プロジェクト代表。東北芸術文化学会会員。新制作協会協友。新制作協会新作家賞、創作玩具国際コンペティション、ウッドデザイン賞受賞。道民カレッジ連携講座、北海道私立幼稚園協会教員免許更新講習、帯広市保育問題研究会、保育士会等の講師。「木育」をキーワードに研究を進めている。

※基本的には札幌市及び近郊の学校を対象とします。遠方場合はご相談ください。